



積水不可極
 安知滄海東
 九州何處遠
 萬里若乘空
 向國惟看日
 歸帆祖信風
 鰲身映天黑
 魚眼射波紅
 鄉國扶桑外
 主人孤島中
 別離方異域
 音信
 吾為通



庭訓

平家物語

夫佛法王法ヲ修允事ハ仁義禮智信ヲ宗トス竊以文武
 ノ二字ヨリ興テ五常ノ源ヲ顯タリ故何ト者文ハ仁義禮
 ノ三列ヲ兼武ハ智信ノ二儀ヲ示ス爰ヲ以テ二國傳燈スル
 所謂文ハ佛法ヲ建立シ滅罪生善ノ巨益也武ハ王法ノ
 莊ナリ強敵ヲ靜メ國衛ヲ護念シ群集ヲ紘スナリ就中
 文道ヲ嗜者ハ月氏ノ照克震旦ノ魏文日域ノ聖徳ナリ
 是等ノ先徳ハ依文ニ世屬ヲ刷ズナリ為文盛則又王法
 昌ナリ為文猛則ハ國家イマク豊饒ナリ頗ル武士ニ惟天
 地陰陽相生ノ時ハ衆人无病勵メ尚學ヲ文嗜テ不可捨ハ
 武ナリ中比天山ニ獨メ學匠アリ名ヲ玄惠法印ト云生
 國ハ羽州ノ人ナリク比叡山ニ學特シテリ或時禁中ハ被召
 年来學問ノ奇特アル事ヲ御所望有リ刻庭中ニテ一卷ノ
 書札ヲ認見給ハ二月ヲ兼テ潛ニ法度ヲ顯ナリ御門此文ヲ
 獻覽在テ則庭訓往來ト題ヲ給王法世法ハ如列星ノ如
 日月明ナリ末世ノ諸人以此書可為鑑ト而云

和歌文庫

賀

茨

朔月養生俗談

正月朔日養生俗談... 朔日養生俗談... 朔日養生俗談...

大行不顧

細謹



大行不顧... 細謹... 大行不顧... 細謹...

郡

渡

二月... 二月... 二月... 二月...

二月... 二月... 二月... 二月...



巧言 令色 美仁

巧言令色美仁... 巧言令色美仁... 巧言令色美仁...



庭訓往来

春は漸く心算方より心算集
 富貴方徳性の業甚く探蔵初
 期指し前見之三決不意
 中は後後人より遠くもる意
 延び心算集より探蔵の探蔵

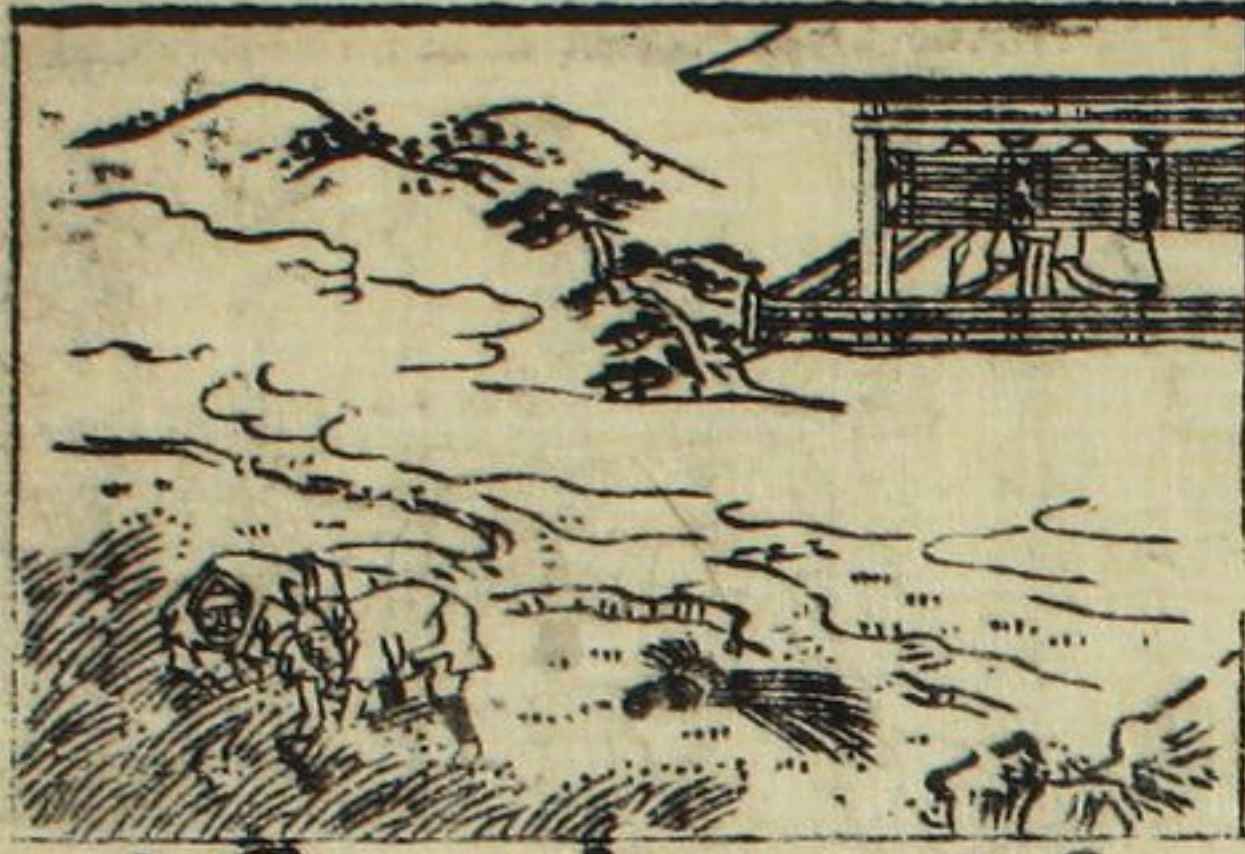
人間食時五息解

九僧尼のやりのうへ
 食時毎小又観十佛
 名瓜浦一ぬ法小食
 を一深く位於を
 おそ積く位小食の
 車より互家より
 りてくつらうとて
 といふ釋成小准と
 と思瓜介とて一頁
 天子をけいめなる
 三公九卿も七も食
 時より法ありて受
 食の上分と字賀乃
 御魂あまのけり

月影隨月華を三作是將楊弓
 雀小の膳有る懸小串會
 中鹿園物也と九と交繁
 中而中。打後經天と為乃財
 身勢達者少く有湯清心食
 立給と心も是業誰ぬる胡泰

春房と扶助一安
 程一先陰瓜
 去一む世思惠と
 假ちと疎おのりな
 かしと之子と育り
 の唯細起と可
 一上目と之れとま
 起るの病を生
 どののしとけ
 大分を加ねの
 足成とり
 ○二つ此食固農夫
 乃辛苦して作を
 其辛苦と作
 中下と
 産るを自耕と

思ふ事いほたふたふと
 形の後景同員も
 由我我運と
 半次為應角と
 竹筒まもも
 情中欲多ふ
 思ふ事いほたふたふと
 形の後景同員も
 由我我運と
 半次為應角と
 竹筒まもも
 情中欲多ふ



居るに安樂と
 とうこれ耳と
 樂成その
 夫主に小居と
 元とれと
 士に報せ
 つ神と
 保と

併胡春と
 二月廿二日
 謹上
 敬白
 心
 花鳥

金とくそあつたか
 樂しき世にこそ
 乃長久を祈る毒
 と合ふ病癒愈
 さんとすれがごとし
 不仁に秋よりあまき
 のふらひ又若ま
 と氏忠父母これ
 比頭領主いふ末及
 ぶがわあまも所
 知西飲の人の殊ふ
 政を時と悪ふ
 不仁に氏四の元
 非理に氏百姓を
 誣貪しとるれど

法を如教起奉
 相討奉儀は
 蘇樹梯成
 面青暴風
 行時
 人非亦
 下

負享年中
 乃代官何某の
 吏非道
 地獄
 集小
 幸形
 中
 耕田
 未下土誰念
 餐粒之皆辛苦
 御の歌
 のは遠國
 甲斐
 小

願浪
 打報
 家
 声
 池
 之

郡

渡

誠ふらふてふふ
 勢なり一粒の食ふ
 くらげの作夫の汗の
 身一箇喰ふ所を
 少く古人の言
 しく思ひ
 ○云く我才智徳の
 も君がまゝと申
 を治政のつとめ
 英會を要する幸
 の甚くおふと申
 容易不慮と云ふ
 志はまゝと申
 まよふと申
 思ふに牛馬の
 水もと申

未練の男
 下有用
 古
 二月廿一日
 律上
 祝

合

村

〇四つ小申
 糟糠
 能は
 者も
 〇河
 食
 〇中
 食

重
 繁
 作
 由
 平
 保

困

田

康食の味毒を生
 と毒のくもてふか
 らざる思病と生
 足ゆえふ之毒と病
 伏し此食の飢渴を
 病食の味とくもて
 けり念と毒を
 食れ好悪を論を
 だてし
 五つ上右の竹を
 たりとる一上右の穀
 根とくし毛をくも
 血をくもくもくも
 如木ぬきとくもくも
 食をくもくもくも

少法入毒中自強及法不
 例例法は法をくもくも
 田族の衆科の法をくもくも
 其の法相入果法清行連地
 法は法有子用は地和者衆人
 今法は法は法用は便者法は

甚

く

食統のくもくも
 くらまふくもくも
 其時くもくもくも
 食をくもくもくも
 力なく却て腸胃
 快んんんんんん
 飯と鞭をくもくも
 食をくもくもくも
 ありきりくもくも
 食をくもくもくも
 酒肴のくもくも
 一肉の味無と回
 くらまふくもくも
 くらまふくもくも
 くらまふくもくも

及西國法并海和出此物者除
 也此法法の法は法は法は法は
 細針をくもくもくもくも
 法は法は法は法は法は法は
 法は法は法は法は法は法は
 法は法は法は法は法は法は
 法は法は法は法は法は法は
 法は法は法は法は法は法は

三三

真千字文

天地玄黃

宇宙洪荒

日月盈昃

辰宿列張

溥天之下莫非王土
率土之濱莫非王臣
廣土豐財無疆之業
受天降之休否無疆之業

休否之征實受天之
降罰而天不可欺也

皇天無心於遷善
而懲惡惟人自召

善惡之報如影隨形
三世不易之理

政

四

丁

巳

寒來暑往

秋收冬藏

閏餘成歲

律呂調陽

雲騰致雨

作樂立政

三月七日

玄書九年

和政所啟

行而後進自是而後

樂也極而後止而後

息也入於無事而後

鱗潛羽翔
解渴相細

龍師火帝
執所出爭

鳥官人皇
考友入里

始制文字
始制文字

乃服衣裳
乃服衣裳

郭陽子遺戶屋妻戶行戶安之會

樹之也校之也

肯棟棟也押也

善如之也

生并鑄所并

用也

推位讓國
推位讓國

有虞陶唐
有虞陶唐

吊民伐罪
吊民伐罪

周發殷湯
周發殷湯

坐朝問道
坐朝問道

容德修德人致

居桓也

以也

杏楊梅柿

漆柚棋

心也

庭訓



男效才良	女慕貞潔	男效才良	女慕貞潔	豈敢毀傷	恭惟鞠養	四五大常
------	------	------	------	------	------	------

惜其愛之也必欲其成也
 為其可與也必欲其成也
 山溪浦河也必欲其成也
 市町之通也必欲其成也
 伯仲之也必欲其成也
 花之也必欲其成也



信便可覆	靡恃已長	罔談彼短	得能莫忘	知過必改
------	------	------	------	------

為其可與也必欲其成也
 山溪浦河也必欲其成也
 市町之通也必欲其成也
 伯仲之也必欲其成也
 花之也必欲其成也

器欲難量

墨悲絲染

詩讚羔羊

景行維賢

系以維

克念作聖

德建名立

形端表正

空谷傳聲

虛堂習聽

禍因惡積

海晏河清日昇月華

人倫道義

情懸漢子傾城回柏子遊女秋

秋露

指海花柳

儒賢

生於世者勸於德

典記

直管

文

案

在

三川



福縁善慶
 福縁善慶
 尺璧非寶
 尺璧非寶
 寸陰是競
 寸陰是競
 資父事君
 資父事君
 曰嚴與敬
 曰嚴與敬
 曰嚴與敬

給伴今也
 給伴今也
 如月六日
 如月六日
 中野善教
 中野善教
 如月六日
 如月六日
 如月六日
 如月六日



孝當竭力
 孝當竭力
 忠則盡命
 忠則盡命
 臨深履薄
 臨深履薄
 臨深履薄



孝當竭力
 孝當竭力
 忠則盡命
 忠則盡命
 臨深履薄
 臨深履薄
 臨深履薄
 臨深履薄
 臨深履薄
 臨深履薄

庭川



風興溫青
 似蘭斯馨
 如松之盛
 如松之盛
 川流不息
 淵澄取珠
 洞澈取珠

古昔山嶺傳海傳
 見同對者年上
 太之後人浮海
 得法而大為
 伯樂之遺傳
 刻之於石



容止若思
 言辭安定
 萬初誠美
 慎終宜令
 榮業所基
 榮業所基

仁如眉化婦
 醜陋為頭布
 外如質婦
 張文信海
 嶽之巔
 嶽之巔

三川

藉其無竟
藉古之竟

學優登仕
學優登仕

攝職從政
攝職從政

存以甘棠
存以甘棠

去而益詠
去而益詠

樂殊貴賤
樂殊貴賤

禮別尊卑
禮別尊卑

上和下睦
上和下睦

夫唱婦隨
夫唱婦隨

外受傳訓
外受傳訓

此書教中此書教中與列人便

中職教中此書教中與列人便

朝遠程中此書教中與列人便

河也錫備中此書教中與列人便

栗字中此書教中與列人便

後生教中此書教中與列人便

雲似霞中此書教中與列人便

軍家權中此書教中與列人便

吳言中此書教中與列人便

乙今中此書教中與列人便

己律中此書教中與列人便

道遠中此書教中與列人便

入奉母儀

諸姑伯叔

猶子比兒

孔懷兄弟

同氣連枝

交友投分

切磨箴規

仁慈隱惻

造次弗離

節義廉貞

三月十一日中勢必清涼

進上宋女心教

良人適面拜禮若此何日敢

賤勢也此有侯志至爾保結

春春村園果中何人言教人

諸法使也其方也何人言

折若其力合實其真其其

式不致持持難決今者能得

商如生其方不致陳時若

續其亦可其年其其其其

止其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其

頭沛匪壑
 於沛匪壑
 性靜情逸
 性靜情逸
 心動神疲
 心動神疲
 人初神疲
 守真志滿
 守真志滿
 古志志滿
 逐物意移
 逐物意移
 逐物意移

凡法無常應以心為本
 心外無別法
 且心無定處
 猶如流水
 去來無定
 肯與心記
 勸道無定

堅持雅操
 堅持雅操
 好爵自縻
 好爵自縻
 好壽自縻
 好壽自縻
 都邑花夏
 都邑花夏
 於邑花夏

感物不攻
 感物不攻
 給方不攻
 給方不攻
 奇操保好
 奇操保好
 五月九日
 五月九日
 進上
 進上
 不審
 不審



東西二京
東西二系
背邱面洛
首邱面洛
字渭據涇
浮河授河
宮殿盤齋
玄殿聖壽
樓觀飛鷲
栢觀飛鷲

脂餘膏
柳芳金
借用
枕基
聖壽
栢觀
浮河
宮殿
玄殿
樓觀
栢觀

圖寫禽獸
圖寫禽獸
畫彩仙靈
畫彩仙靈
丙舍傍啓
丙舍傍啓
甲帳對楹
甲帳對楹
肆筵設席
肆筵設席
博選設席

乾梅
剪海
魚雄
一香
別經
兔丁
麻平
山脈
翠嶺
精精
清丁
鳥丁

鼓瑟吹笙
 教習以笙
 外階納陛
 陞以油陛
 弁轉疑星
 矢轉斡星
 右通廣內
 左通承明
 左寺承明
 右寺承明

漢漢後本及為將也
 腹極為賦辛地掌
 唯迷也或實負賦
 從以心也業也心
 又月日 李約道文心
 左系之及冲也業

既集墳典
 亦聚群英
 杜橐鍾隸
 杜橐鍾隸
 漆書辟經
 漆書辟經
 府羅將相
 府羅將相

以圖之依連物志
 後後心也也也
 謀教及送也也
 漢漢後本及為將
 腹極為賦辛地掌
 唯迷也或實負賦
 從以心也業也心
 又月日 李約道文心
 左系之及冲也業

路俠槐（槐）
 傳視（視）
 戶封（封）八縣（縣）
 戶封（封）八縣（縣）
 家給千兵（兵）
 高冠陪輦（輦）
 言冠陪輦（輦）
 驅轂振（振）
 經教推獨（獨）

財產巡捕民保刑殺族令意
 國為德出討大將軍花蓋
 家族園地以撥揚彼布城
 不積統賊汽一經國要害
 年款入進新保也自以揚
 重事下不盡首事也者再
 重事下不盡首事也者再

世祿侈富（富）
 車駕肥輕（輕）
 策功茂實（實）
 策功茂實（實）
 勒碑刻銘（銘）
 勒碑刻銘（銘）
 碯溪伊尹（伊尹）
 碯溪伊尹（伊尹）

車腹美素出茶粉出助成
 也今方也上高家眉目可
 途與國人之不粉者食我
 幼諸作若存命位也再會
 申金統中地軍家出美事
 上上上上上上上上上上

碯
 刻

馳譽丹青
社三丹青

九州禹跡
九物亦化

百郡秦并
百郡秦并

嶽宗恒岱
嶽宗恒岱

新宗亦在
禪主云亭

雁門紫塞
雁門紫塞

雞田赤城
雞田赤城

昆池碣石
昆池碣石

鉅野洞庭
鉅野洞庭

曠遠縣邈
曠遠縣邈

久袖丹心
久袖丹心

還願龍如錄
還願龍如錄

玉管吹天鶴
玉管吹天鶴

寶好鳳儀誌
寶好鳳儀誌

為弓矢不
為弓矢不

經卷作年
經卷作年

深木鏡
深木鏡

許子
許子

轉毛
轉毛

月額
月額

只全
只全

橫金
橫金

三

七

巖岫香真
噴岫香宮

台本於農
治本於農

務茲稼穡
務茲稼穡

併載南畝
併載南畝

我藝黍稷
我藝黍稷

稅熟貢新
稅熟貢新
統熟貢新
勸賞黜陟
勸賞黜陟
勸賞黜陟
孟軻敦素
孟軻敦素
孟軻敦素
史魚秉直
史魚秉直
史魚秉直
庶幾中庸
庶幾中庸
庶幾中庸

芻藋以麋。麋後虎。虎以麋。切以芻藋。
熊以芻藋。熊後虎。虎以麋。切以芻藋。
六糧。木。鞍。韉。糶。糶。以。糶。糶。糶。
糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。
糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。
糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。
糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。糶。

彼其并命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。
命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。
命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。
命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。
命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。
命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。
命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。命。

勞謙謹勅

聆音察理

鑒顏辨色

貽厥嘉猷

勉其祗植

省躬譏誡

寵增抗極

殆辱近耻

林宰幸御

兩疏見機

臣等奉命出外，勤加修葺，

恭惟國恩，不敢後命，

守職盡忠，自當竭誠，

用之，後亦不敢自便，

為國流矢，物化如雲，

梅之節，小神，通誠，

雅精如雲，不特，

雅精如雲，不特，

雅精如雲，不特，

雅精如雲，不特，

解組誰逼
細細通

索居閑處
索居不支

沉默寂寥
沈默宅家

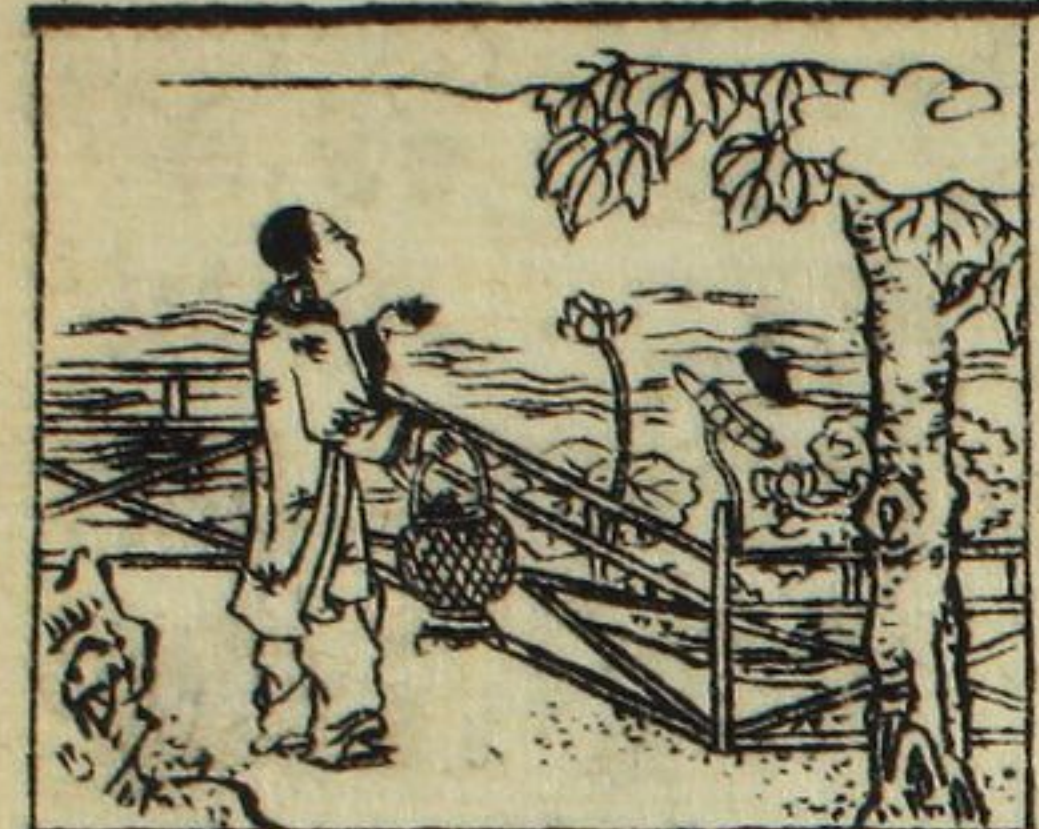
求古尋論
求古為法

散慮逍遙
散慮逍遙

欣奏累遣
欣奏累遣

感謝歡招
感謝歡招

或如釣把
或如釣把



注書遺稿
注書遺稿

七月八日
七月八日

進上之序
進上之序

薄紙拂塵
薄紙拂塵

賤後探骨
賤後探骨

通用湯液
通用湯液

兼用方志
兼用方志

張表衣三
張表衣三

今長清素
今長清素

法能除七
法能除七

湯杖以公
湯杖以公

金環子玉
金環子玉



銀燭輝煌
 銀巧煒煌
 晝眠夕寐
 夢眠夕寐
 籃箏象床
 暮年家
 絃歌酒燕
 吟新酒燕
 接杯舉觴
 接杯舉觴
 接杯舉觴

嬌手頓足
 嬌手頓足
 嬌手頓足
 悅豫且康
 悅豫且康
 悅豫且康
 嬌後嗣續
 嬌後嗣續
 嬌後嗣續
 祭祀蒸嘗
 祭祀蒸嘗
 祭祀蒸嘗
 稽顙再拜
 稽顙再拜
 稽顙再拜

信乎成管見之...
 不為屬...
 七月廿日...

七月廿日 如賀大標和氣

律一民神左主殿

依其...
 今...

中...
 春...
 律...
 停...
 息...
 拘...

駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭
駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭
駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭
駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭

德身之遠。下流。業以人財。
 賭。卒。不。能。一。存。此。年。以。何。奏。
 是。有。其。初。接。地。中。之。德。法。律。義。統。
 相。論。其。中。已。第。種。德。法。律。義。統。
 中。其。初。接。地。中。之。德。法。律。義。統。
 圓。圓。其。中。已。第。種。德。法。律。義。統。

駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭
駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭
駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭
駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭	駭

有。其。初。接。地。中。之。德。法。律。義。統。
 圓。圓。其。中。已。第。種。德。法。律。義。統。
 中。其。初。接。地。中。之。德。法。律。義。統。
 相。論。其。中。已。第。種。德。法。律。義。統。
 中。其。初。接。地。中。之。德。法。律。義。統。
 圓。圓。其。中。已。第。種。德。法。律。義。統。

延訓

四

曦暉朗曜

璇璣懸軒

晦魄環照

指薪脩君

永綏吉劬

矩步引頤

俯仰瀾

束帶於居

徘徊瞻眺

孤陋實聞

拾遺書人賦辨快甚美時

人乘此書也我知此書之

言其始也其始也其始也

之則也其始也其始也其

之則也其始也其始也其

外令也其始也其始也其

下力也其始也其始也其

之則也其始也其始也其

之則也其始也其始也其

之則也其始也其始也其

愚蒙等謂
巨若お酒

謂語助者
はは助志

焉哉乎也
言球乎也

汗字入の書(梁の
陳郡の人散騎行

所用興嗣字を思
集てて人を編み
梁の武帝諸のま
建ふ書はと可えん

考へて一般職を
してま載之を
の中はく重なる者

三干字を掲げ
その雜研しく次
考ふはとしく固
興嗣と云くもを
韻字の物と考ふ
を本を觀同
便に
勅をきてる編
て武帝上るあり
望ん
千載の絶ふは

今中作是く云く

月七日 友信長首飾

律上 大極反

五領海北は和徳の別意

中業の條をまじりて其業

高海流業供奉月北海用有

作法は法を考ふは法

考は法を考ふは法

法軍の師人請の教人

長教の請雅雅は法

果依を法心の法

又撥當の法教の法

之	山	子	口	戈	己	女	亻
之入 進道送	寶蓋 定宅中穴	珠句 孝存好孕	若石台 禮容	依或 散水	法池泊 蝶翅	依長良 人篇	仕仲何

加陳阿漢道...
 柏子...
 魚...
 不...
 月...
 上...

調

人	丨	后	卩	己	川	、	以
金分會 合掌 車半牛	密計	淋括 鐵柱	郭邦郎	所附限院	邑法	側点	并冠 苦管箱 測点 涉之元 利刀 判別 集法

涉...
 存...
 不...
 午...
 去...
 有...

庭訓
 卷之...

育

萬形と云

以

自貝目
蟠枕と云

し

樂意意愛
蛇尾と云

上

毛翹魂鬼

2

折浩と云

山

四立王
踏急と云

中

江虹紅
珠臺と云

用

山幽函函
回萬と云

用

待月佳守
曲萬と云

用

南用同本

何ぞ律律傳はははははははははははは
 法法法法法法法法法法法法法法法法
 法法法法法法法法法法法法法法法法
 中法中法中法中法中法中法中法中法
 中法中法中法中法中法中法中法中法
 中法中法中法中法中法中法中法中法
 中法中法中法中法中法中法中法中法
 中法中法中法中法中法中法中法中法

月

世學園と云

少

少小未定と云

要

要と云

伊

伊と云

合

合と云

八

八と云

中

中と云

わ

わと云

お

おと云

但

但と云

右

右と云

方

方と云

方方方方方方方方方方方方方方方方
 方方方方方方方方方方方方方方方方
 方方方方方方方方方方方方方方方方
 方方方方方方方方方方方方方方方方
 方方方方方方方方方方方方方方方方
 方方方方方方方方方方方方方方方方
 方方方方方方方方方方方方方方方方
 方方方方方方方方方方方方方方方方

首尾一貫の神と
 ありて未だか
 向ふまは地湯
 乃ちやうと森羅
 万象をまこと
 ししく一は
 一は帰とれ乃奥
 我ひ一文字あり
 大来乃居傳あり
 六世宗蓋起とあり
 とのひのこしん
 心のへー起也
 一ひのりりる
 しひ編律とあり
 律とた一か一斜
 ありて一か一斜

梨葉方々未だ梅心
 花枝深密香記
 紫雲重映外情
 撮子の初秋待
 臘蒲園花純香
 燭焰紅白曲
 梅心未だ梅心
 花枝深密香記
 紫雲重映外情
 撮子の初秋待
 臘蒲園花純香
 燭焰紅白曲



一は律とあり
 一は律とあり
 一は律とあり
 一は律とあり

梨葉方々未だ梅心
 花枝深密香記
 紫雲重映外情
 撮子の初秋待
 臘蒲園花純香
 燭焰紅白曲

學者平話之詞

今とん乃學者を
つれづれりうきまき
是れなりきものふ
ゆゑなりたまふに
昔者ふ出のひて物
ごさたや同かつね
小まごたりたねし
おしるる合點ゆ
ねとわたり今とん
其のゆをまじ
多揚くゆとん
てゆをゆわし
の文字か奉れと
階梯してまふ

足下 そごう
不佞 ふべい
僕 わが
枉駕 わが
過訪 かふ
青雲 あや
諸侯 しよこう
大夫 たいふ
尊大人 そんたいじん
令堂 れいどう
令郎 れいりやう
令弟 れいてい

仁教義理中節全来の如丸丹
收果業も以て遊遊下故義理来有
弦仁空も業も事也計は湯治地流
養生も事も海切は事也事脚
氣中風も事も以て風も刺亦刺也
癰腫疔瘡疔瘡疔瘡疔瘡疔瘡

形如丸丹中節全来の如丸丹
中節全来の如丸丹中節全来の如丸丹
中節全来の如丸丹中節全来の如丸丹
中節全来の如丸丹中節全来の如丸丹
中節全来の如丸丹中節全来の如丸丹
中節全来の如丸丹中節全来の如丸丹
中節全来の如丸丹中節全来の如丸丹
中節全来の如丸丹中節全来の如丸丹

尊	閨	豚	兒	荆	釵	相	識	知	己	社	友	故	人	無	賴	少	年	高	陽	徒	放	蕩	凱	東	西	龍	陽
きん	いん	ぶ	こ	はら	き	あ	し	ち	き	しやう	ゆう	こ	じん	ぶ	らう	しやう	ねん	こう	やう	た	はう	たう	がい	とう	りゅう	りゅう	りゅう
の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の

十一月十二日
奉某

海上五日以啟

敬啟者
 弟等
 承蒙
 教訓
 感荷
 無窮
 謹此
 奉復
 敬頌
 萬安



頑	童	衣	物	國	色	妓	女	情	郎	情	妓
がん	どう	い	ぶつ	くに	いろ	き	に	じやう	じやう	じやう	き
の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の

頑童
 衣物
 國色
 妓女
 情郎
 情妓
 此等
 物類
 皆由
 心造
 故凡
 欲求
 此等
 物類
 必先
 正心

睥睨 人のえらみ
 酩酊 酒のよみ
 忘憂 さけ
 御杯 まじのこ
 下物 さけのこ
 行厨 べんご
 佩刀 りたご
 擊劍 かんたの
 馳馬 うまが
 好事癖 あざむきの
 贗物 なまもの
 世貞 よしの

着はるは後衣津新着は庭前祝
 式は横江に都判長はさかたの
 下着は花菱の白帯はさかたの
 面はさかたの白帯はさかたの
 十二月三日 年佐
 沙上 杖持守教

如蠟毛 ろうろう
 呈上 へんじょう
 見惠 けんゑ
 佳惠 よしゑ
 反壁 はんへき
 完璧 かんぺき
 墨竹 すみちく
 没骨画 ぼつこくが
 粉本 こなほん
 雙鉤 すおうこう
 裱装 びょうそう
 雨衣 うきえ

沙清は白帯はさかたの
 糸は花菱の白帯はさかたの
 通着は白帯はさかたの
 面はさかたの白帯はさかたの
 下着は花菱の白帯はさかたの
 連着は花菱の白帯はさかたの
 式は横江に都判長はさかたの
 面はさかたの白帯はさかたの

浮屠氏 佛のし
 嘲弄 人ぞし
 高堂大厦 高き堂の
 弊廬 リノ
 敬篤目 敬む目
 左國 左の國
 左氏司馬 左の氏
 輓近弊風 輓近の弊風
 得隴望蜀 得隴を望む
 迂遠 迂遠
 雜駁 雜駁
 阿堵物 阿堵物

子細を極め、自ら志すは、道例を以て
 爲るに、故に、積りて、不、善、心、を、起
 難、業、兩、道、程、を、善、心、を、起、す、る
 聖、德、成、而、國、道、の、事、大、に、成、り
 國、道、を、行、は、し、め、る、事、大、に、成、り
 故、に、善、心、を、起、す、る、事、大、に、成、り
 聖、德、成、り、而、國、道、の、事、大、に、成、り

囊金 囊のし
 貴价 貴い
 臨書 臨む
 書齋 書齋
 扁 扁
 柱聯 柱聯
 巾箱本 巾箱本
 書皮 書皮
 帙 帙
 書厨 書厨
 書篋 書篋
 懶架 懶架

小、貞、人、道、徳、を、行、は、し、め、る、事、大、に、成、り
 故、に、善、心、を、起、す、る、事、大、に、成、り
 聖、德、成、り、而、國、道、の、事、大、に、成、り
 國、道、を、行、は、し、め、る、事、大、に、成、り
 故、に、善、心、を、起、す、る、事、大、に、成、り
 聖、德、成、り、而、國、道、の、事、大、に、成、り

庭訓

法帖 いしずん
 画帖 てりん
 毛穎 毛のりやん
 毛錐 毛のすず
 巨筆 おんを
 筆管 おのりく
 筆帽 おのりや
 筆筒 おのり
 筆架 おのり
 筆池 おのり
 陶泓 おのり
 以上

楨拾田本契扶亡
 初念初念初念
 先例無意傍
 納法利道莫大也
 貞現利巨



二重
 進上
 集
 佐敷

天明第六丙午孟春上機
 御江戸常盤橋御門
 本町筋北八町目通油町
 書林
 耕書堂
 葛屋重三郎藏板

